

人工内耳とは

人工内耳とは、内耳の中に人工的な電極を埋め込み、機能が残っている聴神経を直接的に刺激して聴覚を取り戻す人工臓器です。

人工内耳は補聴器でも音を聞くことができない重度の難聴者にとって「音のない世界から音のある世界へ」の大きな福音となっています。しかし人工内耳は手術をするだけでなく聞こえるものではなく、適切な指導訓練が重要です。また、より良い聞こえのために、正しい知識をもつことも大切です。



▲人工内耳 スピーチプロセッサ



▲人工内耳(プロセッサ)を装着してい

補聴器を使ってもよく言葉が聞き取れない方は、人工内耳の装用によって改善する可能性がありますので、専門の医療機関でご相談ください。

人工内耳の対象となるのは次の方々です。

高度感音難聴の方

高度老人性難聴の方

難聴のレベルが90dB以上の方

身障手帳3級以上の方

事故等により失聴された方

※人工内耳は小児も対象となります。

情報保障について

当日は、OHPやパソコンを使用した要約筆記※1、磁気誘導ループ※2を設置いたしますので、耳に障害のある方でも安心してご参加いただけます。

※1.要約筆記

手話が分からない聴覚障害者のためにOHPやパソコンを使用して、話している内容をスクリーンに投影して知らせるコミュニケーション補助手段です。

※2.磁気誘導ループ

補聴器を使用されている方は、スイッチを「T」または「MT」に切り替えることによって、マイクを通した発言者の声が直接補聴器に入るシステムです。雑音に煩わされることがないので、非常にきれいに聞こえます。